

# 社会 なんて? が知ってるよ

執筆 浜学園 駿台・浜学園 社会科 イラスト 高世えり子

きょうのお題

**Q** トンボを代表する種類の「アキアカネ」。その名前の由来は?

**A** よくみられた季節と、植物からとれる染料の色から…みたい!



わかる 1

### トンボは別名で秋津とも

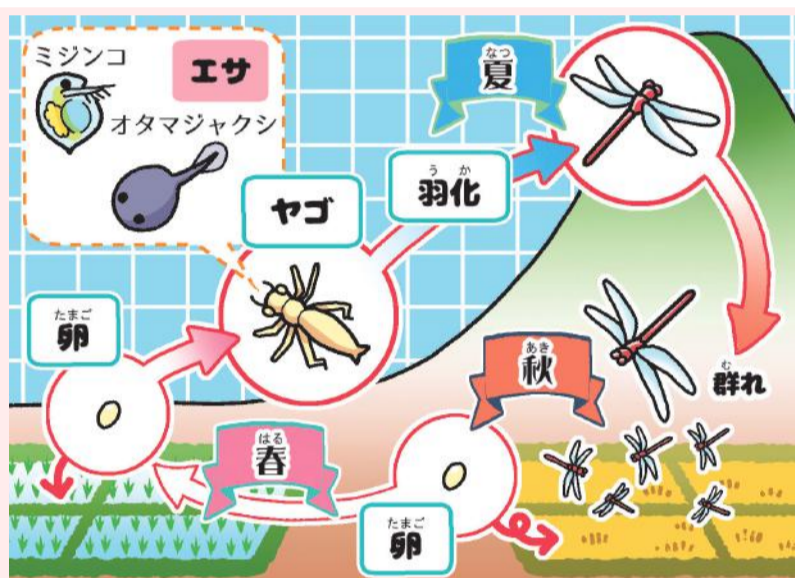
大きな目に細い胴。すき通った羽ですいすいと空をとぶトンボ。目の前で円をえがくように指をまわし、つかまえたことがあるというみんなも多いはず。童謡「赤とんぼ」の歌詞には、おんぶされた子どもが夕焼けといっしょに赤トンボをみるようすがつづられている。昔ながらの日本の秋を思いおこさせる存在……それがトンボなのかもしれないね。トンボには「秋津」という別名もある。丘からみた地形がトンボに似ていることから古代の大和国（いまの奈良県）は「秋津島」とも呼ばれ、やがて日本そのものもそう呼ぶようになったんだって。

わかる 2

### 秋によく目にした「アキ」アカネ

トンボを分類するとき、赤トンボという種類はない。アキアカネが代表的な種類だ。アキアカネは春、田んぼやため池などで卵から生まれる。幼虫にあたるヤゴは水のなかでミジンコやオタマジャクシを食べ、脱皮をくり返して夏に羽化する。成虫は陸上で蚊やアブなどを食べ、標高が高くすずしい山に移って夏をすごす。そして秋に平地へもどってくる。

秋になるとアキアカネの群れが人里でよくみられたことが「アキ」の由来らしい。それじゃ、アカネのほうは？ 実は植物の名前らしいよ。



わかる 3

### 染料に用いた植物からアカネ色

アカネの赤い根は染料に用いられた。赤に似た色をアカネ色といい、奈良県の春日大社にはアカネ染めの糸を使ったよらいがのこされている。奈良時代の『万葉集』には天皇のきさきだった額田王の「あかねさす 紫野行き 標野行き 野守は見ずや 君が袖振る」という和歌も。「あかねさす」は「紫」にかかる決まり文句（枕詞）で、アカネ色に美しく輝くという感じかな。名前に「アカネ」がつくトンボはナツアカネ、ヒメアカネなど。オスとメスでちがいはあるけど、成長すると多くが赤くなる。秋に自にするトンボがアカネ色だからアキアカネなんだね。



国宝 赤糸威大籠（竹虎雀飾） アカネで染めた糸がいまも燃えるような赤色をのこす鎌倉時代の作品 春日大社（奈良県）蔵

## まきもどしまとめノート

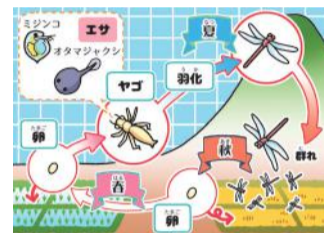
きょうの勉強をふり返ろう。まきもどすように「わかる3」からチェック！絵がヒントになるよ。おうちの人といっしょに答え合わせをしよう。

1 アカネを煮出して染めた色はどんな色に似ているかな？



[ 赤 青 緑 ]

2 トンボの幼虫のことを何というかな？



[ ]

3 秋になるとトンボをよく目にするのはどこかな？

[ 山の上 田んぼがある平地 ]

4 トンボの別名を漢字2字で答えよう。



[ ]

社会科などで勉強する内容にかんする「なんで?」を取り上げ、隔週で解説します。みなさんが「なんで?」と思うことも教えてね。名前、学年、住所、電話番号を書いてメール（asasho@asagaku.co.jp）か、はがき〒104・8433朝日小学生新聞「社会 なんて? が知ってるよ」係へ。◆来週は「日本史を織りなす人物」です。